

言葉の力

宝塚市 川上竜平

今の日本の憲法、特に9条は戦争で戦死してしまった人たちや、空しゅうで命を落としてしまった人たちや、かろうじて生き残った人たちや、今も戦争のせいで苦しんでいる人たちの願いや思いがこめられている憲法だと思います。そんな憲法を戦争を体験していない人々だけで、かんたんに変えることは、できないと思います。昔の日本人たちの

「こんなあやまちはもう二度としない。」

という強い思いを、この時代の人たちがかんたんにふみつぶすつもりですか。今また、戦争を始めてしまったらがんばって少しずつ築きあげてきた日本がまたゼロからのやり直しになってしまいます。しかも今の戦争の技術は、昔の60年ほど前に比べて考えられないほど、進歩しています。そんなじょうたいで戦争をしたら、ゼロどころか、マイナス1億ぐらいのやり直しになってしまいます。なによりぼくは戦争なんかには絶対行きたくないです。お国のために死にたくもないです。人が死んでお国のためになるという考え方はまちがっていると思います。人の命より大切な物はないからです。人を殺すというのは悪いことなのに戦争をしているときだけは人をたくさん殺せば殺すほど、えらくなれるというのもおかしいです。戦争が残すものは悲しみしかないと思います。戦争は悪です。戦争で勝つ国が強い国ではなくて本当に強い国は、武力で解決しない国だと思います。今の日本は、アメリカやロシアの言いなりになっているだけです。人は言葉という他の動物にないすばらしい物を持っています。なぜこういうときにその言葉を使わないで、力、戦争でおしつけようとするのか理解できません。これじゃあ、弱肉強食の動物の世界とかわりません。脳のすぐれている人間はこういうときにこそ、言葉の力を信じて使ってほしいです。

憲法改正はおそろしいことです。そのおそろしさを知り言葉で解決してほしいと思います。